プラットフォーム名：とっとりプラットフォーム5+α

様式2) 中長期計画に対する自己評価 (1ページ以内) ※計画策定から1年以上のプラットフォームのみ記入	
全体評価	S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。 B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。 C：当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。 D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。
B	
評価理由	取組項目数17件のうち、S評価(4件)、A評価(8件)、B評価(5件)、C評価(0件)、D評価(0件)。 S(5点)、A(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)として計算した加重平均点は、3.94点。 これを勘案し「B」評価とした。 ※様式3)達成目標・活動指標等参照 ※加重平均点算式(5点×4件(S)+4点×8件(A)+3点×5件(B)+2点×0点(C)+1点×0件(D))÷17=3.94点。
評価に関する備考 (考慮すべき事項)	
17の取組項目の個別評価は、意思決定機関である運営協議会(高等教育機関5団体、自治体3団体、経済・医療福祉団体等9団体)で実施している。 ※様式1)プラットフォームの連携・協議体制図参照	

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入（ ）は前回評価					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
(1) プラットフォーム構成 団体の連携強化による 研究教育力の向上	(1) 共同研究の取組数 【目標】 令和5年度～ 令和9年度10本 【実績】 令和5年度1本	<取組1> 高等教育機関の連携による 学びの提供	<取組1の活動指標> 公開講座毎年1回開催	<取組1の活動実績> 令和5年度 1回開催(合計9講座) 令和6年度 1回開催(6月末までに2講座)	A
		<取組2> 社会人の学びやすい仕組みの 導入と推進	<取組2の活動指標> 検討会毎年1回開催 ※令和6年度まで	<取組2の活動実績> 令和5年度 1回開催 令和6年度 令和6年度の検討会に向けニーズ 調査を実施	S
		<取組3> 共同FD・SD研修会の実施	<取組3の活動指標> 毎年1回開催	<取組3の活動実績> 令和5年度 1回開催	A
(2) 県立美術館の サポート・活用	(2) 対話型鑑賞プログラム実施 回数 【目標】 毎年2回以上 【実績】 令和5年度2回	<取組4> 美術ファシリテーターの養成	<取組4の活動指標> 対話型鑑賞プログラム 毎年2回以上実施	<取組4の活動実績> 令和5年度 対話型鑑賞プログラム2回実施 令和6年度 対話型鑑賞プログラム2回実施	S
		<取組5> 美術館フィールドの活用支援	<取組5の活動指標> 美術館関係者による 講座毎年1回開催	<取組5の活動実績> 令和5年度 ・県立美術館関係者による講演会 1回実施 ・県立美術館フィールドを活用した 建築人材育成事業として県外関 連施設視察2先実施 令和6年度 県立美術館フィールドを活用した 人材育成の企画4本立案(秋より 実施)	S
		<取組6> 美術館のサポート(開館後も 見据えた)	<取組6の活動指標> 構成大学等教員への 聞き取り毎年複数人 ※令和6年度まで	<取組6の活動実績> 令和5年度 聞き取り候補者選定に係る協議を 実施	B
(3) 若者定着による 人手不足の解消	(3) 県内高等教育機関の 県内就職率 (県内就職者数/就職者 数) 【目標】 令和9年度38% 【大学等別目標】 鳥大25%	<取組7> 産業界との連携による産業人 材の育成	<取組7の活動指標> 大学等教員による社会 人のキャリア形成等研修 毎年1回開催	<取組7の活動実績> 令和5年度 鳥取県看護職員実習指導者養成 講習会1回実施 令和6年度 鳥取県看護職員実習指導者養成 講習会1回実施	A
		<取組8> 学びと関連した移住・定住の	<取組8の活動指標> 県外説明会	<取組8の活動実績> 令和5年度	B

プラットフォーム名：とっとりプラットフォーム5+α

(6) 地域福祉活動への学生の参加促進	(6) あいサポーター研修への参加学生数 【目標】 令和5年度～令和9年度 累計500人 【実績】 令和5年度8人	<取組15> こども食堂等の情報発信と学習支援	<取組15の活動指標> こども食堂への学生の参加の進め方検討 毎年1回実施 ※令和6年度まで	<取組15の活動実績> 令和5年度 4回実施 令和6年度 検討会にあたり、こども食堂の状況調査を実施	A
		<取組16> アドボカイト・こどもサポーターの養成	<取組16の活動指標> サポーター養成研修への参加毎年10人	<活動16の活動実績> 令和5年度 鳥取短期大学(2人)	B
		<取組17> 地域福祉理解と活動の推進	<活動17の活動指標> あいサポーター研修への参加毎年100人	<取組17の活動実績> 令和5年度 鳥取大学(8人) 令和6年度 鳥取短期大学(60名)	B

◆「活動実績」は、令和6年6月30日までの取組状況について記載。

◆「評価」については、下記を参照し記載。

S：当初の取組計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。

A：当初の取組計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。

B：当初の取組計画について、期間中には十分な成果が出ておらず、目標の達成に継続した努力が求められる。

C：当初の取組計画について、未達のため取組内容や目標等の一部見直しが必要である。

D：当初の取組計画について、目標の達成見込みがないため、取組内容や目標等に関して抜本的な見直しが必要である。